

Ⅲ 信頼され、地域とともにある学校づくりの推進

① 開かれた学校づくり

- 各学校で実施している学校評価を基にした学校運営のPDC Aサイクルの充実・改善に努めます。
- 家庭や地域に信頼される学校づくりを進めるため、各学校が家庭や地域に説明責任を果たすことにより、学校、家庭、地域の緊密な連携を推進します。
- 保護者や地域住民への学校開放に関わる行事を推進し、県民一人一人が鹿児島県の教育について考える気運を高めます。
- 「社会に開かれた教育課程」の実現を目指し、学校全体で児童生徒や学校、地域の実態を適切に把握するとともに、地域の教育資源や人材を生かし、教育活動の質を向上させ、学習効果の最大化を図るカリキュラム・マネジメントに努めます。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○地域が育む「かごしまの教育」県民週間	337	総務福利課
○学校評価の推進	—	義務・高校教育課
▶ PDC Aサイクルの充実、自己評価、学校関係者評価の充実		
○学校経営の充実(再掲)→p. 58	—	〃
▶ 指導主事等会議		義務教育課
▶ 学校訪問指導	年2回(各2日、計4日)	義務・高校教育課
○県総合教育センター研修事業(短期)(再掲)→p. 66	8,561	義務教育課
▶ 学校組織マネジメント(校長)	2講座 38人	
▶ カリキュラム・マネジメント	1講座 12人	
◎コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進事業(再掲)→p. 72	877	社会教育課
○第2期マイライフ・マイスポーツ運動推進事業(一部再掲)→p. 80	4,491	保健体育課
▶ 学校体育施設開放の推進		
○管理職研修会(校長、教頭、事務長)(再掲)→p. 58	3,124	教職員課
施策予算額計	17,390	

【主な事業】

- **地域が育む「かごしまの教育」県民週間(337千円)**
 学校・家庭・地域社会のより一層の連携と協力の下に、県民一人一人が鹿児島県の教育について考える気運を高め、本県教育の充実と発展を図る(11月1日～11月7日)。
 ▶ 各学校における保護者・地域住民への授業公開
 ▶ ポスター原画・標語の募集、優秀作品等の表彰
 (ポスター約5千部を市町村教委や県立学校等へ配布)
 ▶ 県民週間ポスター原画・標語入賞作品展(山形屋)
 ▶ 県民週間パネル展・特色ある学校施設のパネル展
 (県庁行政庁舎1階ロビー及び18階ロビー)



① 開かれた学校づくり

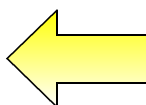
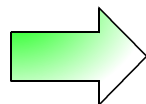
(義務教育課・総務福利課・教職員課・高校教育課・特別支援教育課・保健体育課・社会教育課)

【令和6年度予算額 17,390千円】

開かれた学校づくり

学 校

- ・ 家庭・地域との連携
- ・ 学校評価の推進
P D C Aサイクルの確立,
自己評価, 学校関係者評価の充実
- ・ 情報の発信, 共有
- ・ 学校体育施設開放等



地域・家庭

- ・ 地域学校協働活動等による学校の支援
- ・ 学校関係者評価等への協力
- ・ スポーツ・レクリエーション活動に親しみ, スポーツをとおして支え合う社会づくり

県教育委員会

◎ 学校経営の充実

- ・ 指導主事等会議(年2回, 計4日)
- ・ 学校訪問指導

◎ 管理職研修会

- ・ 校長, 教頭, 事務長

◎ 県総合教育センター研修事業(短期)

- ・ 学校組織マネジメント(校長) 2講座 38人
- ・ カリキュラム・マネジメント 1講座 12人

◎ コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進事業

- ・ 鹿児島県CS・地域学校協働活動推進委員会(年2回)
- ・ かごしまCS・地域学校協働活動関係課連絡会(年2回)
- ・ かごしまCS・地域学校協働活動研修会(県内3か所)

◎ 第2期マイライフ・マイスポーツ運動

- ・ 県立学校の体育施設開放事業の普及・啓発

地域が育む「かごしまの教育」県民週間

- ・ 11月1日～7日
(ただし, 行事等の設定は, この週を含む前後3週間程度を目安とする。)
- ・ 学校開放の行事等に参加することにより, 県民一人一人が「かごしまの教育」について考える気運を高めることをめざす。

② 学校運営の充実

- 管理職の資質向上を図るため、必要な取組を推進します。
- 中長期的な視点に立ち、計画的な教職員の採用を行うとともに、採用の在り方や多様な選考方法についての研究等を行い、優れた人材の確保に努めます。
- 学校の組織体制や指導体制の充実を図るため、管理職の登用を含め、教職員等の適切な配置を推進します。
- 学校において、教職員以外の心理や福祉、法律相談等の専門スタッフ等、多様な人材が、それぞれの専門性を生かし、連携・分担して課題に対応する「チーム学校」の取組を推進します。
- 特別支援教育の充実を図るため、特別支援学校との交流研修等を推進します。
- コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進することにより、地域学校協働活動を更に充実させ、「地域とともにある学校づくり」を推進します。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○小・中学校管理職任用標準試験	1,118	教職員課
○管理職研修会	3,124	〃
▶ 校長研修会 新任1.5日		
▶ 教頭研修会 小・中新任1.5日, 4年目1日 高・特新任1.5日, 3年目1日		
▶ 人権教育管理職研修会(再掲)→p. 18		
▶ 事務長研修会 2日		
▶ 地区別校長研修会 小・中7地区, 高校7地区		
▶ 地区別教頭研修会 小・中7地区, 高校7地区		
○県総合教育センター研修事業(短期)(再掲)→p. 66	8,561	義務教育課
▶ 管理職講座(校長, 教頭) 2講座 36人		
▶ 学校の組織体制に関する講座 7講座 71人		
○学校経営の充実	—	義務・高校教育課 義務教育課 義務・高校教育課
▶ 指導主事等会議 年2回(各2日, 計4日)		
▶ 学校訪問指導		
○人事異動の標準に即した人事異動	5,326	教職員課
▶ 教員構成の適正化と気風の刷新		
▶ 学校教育の抱える今日的課題への対応を通じた信頼される学校づくりの推進		
▶ 特色ある学校づくりの推進		
▶ 離島等の教育の充実		
▶ 教職員の資質の向上		
○生徒指導対策総合推進事業(再掲)→p. 16	205,239	高校・義務教育課
▶ スクールカウンセラー配置事業		
▶ 臨床心理士等相談員派遣事業		
▶ スクールソーシャルワーカー活用事業		
○「かごしまの先生」人材発掘・活躍サポート推進事業	11,204	教職員課
▶ スクールロイヤーの活用		
○教員業務支援員配置事業(再掲)→p. 60	47,165	教職員課
○地域スポーツ・文化活動推進事業(再掲)→p. 28	115,114	保健体育課 義務教育課
○学校評価の推進(再掲)→p. 56	—	義務・高校教育課
施策予算額計	396,851	

② 学校運営の充実（教職員課・義務教育課・高校教育課・保健体育課）

【令和6年度予算額 396,851千円】

学校運営の充実

管理職が社会の要請に的確に対応できる明確なビジョンのもと指導力を発揮

管理職の資質向上

- 1 管理職研修会の開催
 - ア 校長研修会
 - ・ 新任（1.5日）
 - ・ 地区別（7地区）
 - イ 教頭研修会
 - ・ 新任（1.5日）
 - ・ 地区別（7地区）
 - ・ 経験者（1日）
 - 小・中（4年目）
 - 高・特（3年目）
 - ウ 事務長研修会
- 2 県総合教育センター研修事業（短期）
 - ア 管理職講座（年間2講座）
 - イ 学校の組織体制に関する講座（年間7講座）

管理職の登用を含めた適正な教職員配置

- 1 管理職任用標準試験の実施
 - ア 対象
 - 本県公立学校教諭、養護教諭、栄養教諭、事務職員等
 - イ 試験内容
 - 面接及び記述試験
- 2 人事異動の標準に即した人事異動の実施
 - ア 標準勤務年数を超えた者の異動
 - イ 新規採用教職員等の配置
 - ウ 離島等の教育の充実
- 3 学校事務の共同実施
 - 事務処理の更なる効率化と質の向上の推進

特別支援学校との交流研修等の推進

- 1 特別支援学校との交流研修の推進
 - ア 目的
 - 小・中学校、高校と特別支援学校の教員が交流することによって双方の校種の教育活動及び児童生徒の実態を理解し、連携を深める。
 - イ 交流対象者
 - 小・中学校、高校、特別支援学校から、希望者をもって交流させる。
 - ウ 交流の期間
 - 3年間とし、交流研修後は原則として原籍校に戻る。

【主な事業】

○ 「かごしまの先生」人材発掘・活躍サポート推進事業（11,204千円）

新たな教員志望者を発掘するため、本県の教員として働くことのやりがいや魅力を積極的にPRするとともに、県外での採用試験やブランクのある教職経験者を支援する研修等を行う。

- ▶ 人材発掘（PR活動、県外での採用試験実施、潜在教員の大学等での復帰研修等）
- ▶ 活躍サポート（スクールロイヤーの活用、管理職研修等）



③ 学校における働き方改革の推進

- 「基本的には学校以外が担うべき業務」, 「学校の業務だが, 必ずしも教師が担う必要のない業務」, 「教師の業務だが, 負担軽減が可能な業務」の3分類の徹底や業務の効率化など, 学校・教師が担う業務の適正化の一層の推進に努めます。
- 各市町村教育委員会とも連携し, 学校における働き方改革の実効性の向上に努めます。
- 質の高い教員の確保に努めるとともに, 教職員等の適切な配置を推進します。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
㊦業務改善実践校モデル事業	1,919	教職員課
▶ 学校における更なる業務改善の推進		
○「かごしまの先生」人材発掘・活躍サポート推進事業 (再掲)→p. 58	11,204	〃
○統合型校務支援システム維持管理事業 (再掲)→p. 46	8,981	高校教育課
㊦コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進事業 (再掲)→p. 72	877	社会教育課
○学校保健推進事業	4,319	保健体育課
▶ 県立学校職員安全衛生管理		
○「かごしまっ子」すくすくプラン (再掲)→p. 33	244,679	教職員課
○少人数指導等の充実 (再掲)→p. 33	—	〃
○小学校高学年における教科担任制の推進 (再掲)→p. 33	—	〃
○中学校免許外教科担任解消事業 (再掲)→p. 33	62,250	〃
○教員業務支援員配置事業	47,165	〃
▶ 教員が児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を支援するため, 市町村が配置する教員業務支援員に要する経費を一部補助		
○地域スポーツ・文化活動推進事業 (再掲)→p. 28	115,114	保健体育課
施策予算額計	496,508	

【主な事業】

- ㊦ 業務改善実践校モデル事業(1,919千円)
学校における更なる業務改善を推進するため, モデル校を指定し, 教職員の働き方改革に関する実践研究を行う。
- ▶ 民間コンサルタントによる伴走型の学校支援
 - ▶ 画像A I を活用したテストの自動採点



③ 学校における働き方改革の推進

(教職員課・総務福利課・義務教育課・高校教育課・特別支援教育課・保健体育課・社会教育課)

【令和6年度予算額 496,508千円】

学校における働き方改革の推進

県教育委員会

① 学校・教師が担う業務の適正化の一層の推進

- 「学校・教師が担う業務に係る3分類」を徹底するための取組

※「学校・教師が担う業務に係る3分類」

1. 基本的には学校以外が担うべき業務
2. 学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務
3. 教師の業務だが、負担軽減が可能な業務

- 各学校における授業時数や学校行事の在り方の見直し
- ICTの活用による校務効率化の推進

② 学校における働き方改革の実効性の向上等

- 地域、保護者、市町村教育委員会との連携
- 学校における取組状況の「見える化」

③ 持続可能な勤務環境整備等の支援

- 教職員定数の改善
- 支援スタッフの配置の充実
- 教員のなり手の確保
- 学校部活動の地域移行の推進
- 産業医等の選任を含めた労働安全衛生管理体制の充実

【主な事業】

- 業務改善実践校モデル事業
- 「かごしまの先生」人材発掘・活躍サポート推進事業
- 統合型校務支援システム維持管理事業
- コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進事業
- 教員業務支援員配置事業
- 地域スポーツ・文化活動推進事業
- 学校保健推進事業（県立学校職員安全衛生管理）

④ 公立高等学校の活性化

- 生徒の学力向上，学校の特性を生かした教育活動の充実，学校運営の改善，教職員の資質向上等を推進し，学校の活性化を図ります。
- 高等学校学習指導要領や高大接続改革の趣旨を踏まえた指導・評価の工夫・改善を図ります。
- 高等学校の活力や専門性，教育水準の維持向上を図り，地域に信頼され，魅力ある学校にするため，高等学校の在り方について県全体の高校教育振興の視点から検討します。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
㊦未来を切り拓く！新時代に対応した資質・能力育成推進事業 (再掲)→p. 33	7,696	高校教育課
○グローバル人材育成促進事業(再掲)→p. 48	9,384	〃
○郷土教育推進事業 ▶ 地域を担う次世代人材育成プロジェクト(再掲)→p. 40	3,312	〃
○楠隼中高一貫教育校振興事業	14,592	〃
○県立高校振興事業	747	〃
㊦魅力ある県立高校づくり推進事業	14,549	〃
○魅力ある県立高校づくりプロジェクト～スーパースクール事業～	5,600	〃
○楠隼中高一貫教育校調査・広報事業	637	〃
㊦農業高校の学びの充実検討事業(再掲)→p. 40	1,389	〃
○学校評価の推進(再掲)→p. 56	—	〃
○地元企業，大学等との連携による学校活性化の推進	—	〃
○学校職員の人事評価の実施(再掲)→p. 66	—	教職員課
○優秀教職員の表彰(再掲)→p. 66	—	〃
○かごしま応援寄附金「ふるさと母校応援プロジェクト」事業	7,940	総務福利課
施策予算額計	65,846	

【主な事業】

- 楠隼中高一貫教育校振興事業(14,592千円)
楠隼中高一貫教育校において，生徒募集のための周知・広報活動を行うとともに，楠隼独自の教育活動を実践する。
▶ 「シリーズ宇宙学」，「トップリーダー教室」等の実践
- ㊦ 魅力ある県立高校づくり推進事業(14,549千円)
小規模校の連携などを通して，生徒がどの学校に進学しても，充実した学校生活を送れるような取組を実践する。
- 魅力ある県立高校づくりプロジェクト～スーパースクール事業～(5,600千円)
種子島中央高校ミライデザイン科において，関係機関等との連携協力体制の整備やコーディネーターの配置などの支援を行う。



④ 公立高等学校の活性化（高校教育課・教職員課・総務福利課）

【令和6年度予算額 65,846千円】

魅力ある県立高校づくりプロジェクト

現状

I 少子化の進行

- 中卒者数はこれまでの10年間で約1,500人減、今後の10年間でさらに約1,500人減
- 中卒者数の減少などにより1学年2,3学級規模の学校が増加、充足率も低下
- 小規模校では教員数が限られ、生徒の多様な学びのニーズに単独で対応することが困難

II 国の高校教育改革など

- R4から実施された新学習指導要領のポイント
社会に開かれた教育課程、主体的・対話的で深い学び、高大接続改革 など
- 高等学校の魅力化・特色化
スクール・ポリシーの策定、普通教育を主とする学科の弾力化 など
- 生徒指導提要改訂
発達支持的生徒指導、課題予防的生徒指導、困難課題対応的生徒指導 など

今後の方向性

「学びたい学びがあり」「充実した楽しい生活が送れ」
「進路目標が達成できる」魅力ある県立高校づくり

- ① かがしまSTEAM教育推進プロジェクト
課題解決型の探究活動や専門人材の活用、ICT環境の整備でSTEAM人材育成を加速
- ② 専門高校DXスタートアッププロジェクト
専門学科の学習活動にAIやVR、3Dプリンターなどを活用した次世代人材の育成
- ③ 農業高校の学び充実検討事業
技術革新に対応した農業教育や、鹿児島島の農業を支える人材育成などについて、有識者会議を開催
- ④ かがしまOnline-campusプロジェクト
R7からの単位認定可能な遠隔授業開始に向け、トライアル配信を実施し課題への対応
- ⑤ 県立高等学校通学費支援事業
路線バス等の減便・廃止による影響を受けた高校生に、通学費の一部を補助
- ⑥ 「居場所」と「絆」プロジェクト 2nd season
「発達支持的生徒指導」による授業・行事の改善等や「心の健康観察」の推進で居場所と絆づくり
- ⑦ スーパースクール × DXハイスクール
ミライデザイン科の学びを、ハイスペックPCやデジタル工作機械等の導入により更に充実
- ⑧ 県立高校魅力発信プロジェクト
県教委HPで県立高校の魅力を発信し、SNS等も利用して中学生への訴求力が高い広報を実施
- ⑨ 小規模校サポート事業
複数の小規模校を1つのグループとみなし、学習活動や行事等を合同で実施できるように支援

生徒一人一人が輝く場所に！

⑥ 「居場所」と「絆」プロジェクト2nd season



学校の魅力をダイナミックに！

⑧ 県立高校魅力発信プロジェクト



多角的な視点を身につけ課題と向き合う
① かがしまSTEAM教育推進プロジェクト

DXを活用し人材不足などの課題解決を目指す
② 専門高校DXスタートアッププロジェクト

新普通科をDXでスーパーに！
⑦ スーパースクール × DXハイスクール



「ちいさい学校」のいいところ取り！
⑨ 小規模校サポート事業

農業後継者育成に向けた意見交換
③ 農業高校の学び充実検討事業

どの高校でも「学びたい学び」が受けられるように
④ かがしまOnline-campusプロジェクト



通学ルートの変更による通学費負担増への支援
⑤ 県立高等学校通学費支援事業



⑤ へき地・小規模校教育の振興

- ウェルビーイングの向上を図るために、へき地・小規模校ならではのよさを積極的に生かした特色ある教育活動を推進するとともに、オンライン等のICT活用により、教育環境を補うような取組を進めます。
- 複式学級の指導の在り方や各教科等の授業の進め方等に係る教職員の指導力の向上を図るとともに、へき地・小規模校に勤務する教職員の研修機会の確保に努めます。
- 市町村が実施している山村留学の円滑な受け入れを推進します。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○現職教員等研修事業(再掲)→p. 66 ▶ 中学校臨時免許状等による教科担任等研修会 9教科	28,508	義務教育課
○学力水準向上費 ▶ へき地教育の充実	2,509	義務教育課
○県総合教育センター研修事業(短期)(再掲)→p. 66 ▶ 移動講座(へき地) 26講座 443人 ▶ 複式学習指導 6講座 98人	8,561	〃
○中学校免許外教科担任解消事業(再掲)→p. 33 ▶ 中学校において、免許教科外で授業を担当する教科担任の解消を図るため、非常勤講師を配置	62,250	教職員課
○県総合教育センター調査研究事業(再掲)→p. 33	930	義務教育課
施策予算額計	102,758	

【主な事業】

○ 学力水準向上費(2,509千円)

へき地の小・中学校を計画的に訪問し、へき地校における教育活動の実態を把握するとともに、学習指導、生徒指導等について、具体的指導を行う。

- ▶ へき地・小規模校訪問指導
- ▶ ICTを活用した遠隔合同授業の推進
- ▶ へき地・小規模校教育優秀校の表彰(11月)
- ▶ へき地・複式教育指導資料の作成
- ▶ 山村留学・小規模特認校制度への支援



⑤ へき地・小規模校教育の振興（義務教育課・教職員課）

【令和6年度予算額 102,758千円】

へき地・小規模校教育の振興

- へき地・小規模校のよさを生かした特色ある教育活動の推進
- 教職員の指導力の向上
（複式学級の指導，へき地・小規模校での授業の進め方等）

- 現職教員等研修事業
 - ・ 中学校臨時免許状等による教科担任等研修会

- 県総合教育センター研修事業
 - ・ 移動講座
 - ・ 複式学習指導

- へき地・小規模校教育の充実
 - ・ へき地・小規模校訪問指導
 - ・ ICTを活用した遠隔教育の推進
 - ・ へき地・小規模校教育優秀校の表彰
 - ・ へき地・複式教育指導資料作成
 - ・ 山村留学・小規模特認校制度への支援

- 中学校免許外教科担任解消事業



へき地・小規模校教育の充実①

へき地・小規模校訪問指導

- ・ 学校や教員のニーズに応じた指導や支援

へき地・小規模校教育の充実③

優秀校の表彰

- ・ へき地・小規模校のよさを生かして優れた教育活動を行っている学校の表彰
- ・ へき地・小規模校教育の振興・充実

へき地・小規模校教育の充実⑤

山村留学・小規模特認校制度への支援

- ・ 県ホームページ等での周知等
- ・ 関係市町村とのネットワークづくり

へき地・小規模校教育の充実②

ICTを活用した遠隔教育の推進

- ・ オンラインによる遠隔交流学習，遠隔合同授業，遠隔教員研修等の推進
- ・ 遠隔教育の実践事例等の波及

へき地・小規模校教育の充実④

指導用資料の作成

（「南北600キロの教育」）

- ・ 複式学級における授業の進め方等の手掛かりとして活用
- ・ へき地・複式教育の課題を克服するために取り組んだ実践の紹介

へき地・小規模校教育の現状

⑥ 教職員の資質向上

- 教職員の人事評価を一層充実させ、教職員一人一人の資質向上を図り、学校組織の活性化に努めます。
- かがしま県教員等育成指標及びかがしま県教員等研修計画に基づき、教職員研修の内容の充実、精選、効率化を図り、教職員の資質向上に努めます。
- 教職員としてふさわしい優れた人材を確保するとともに、適切な人事管理に努めます。
- 信頼される学校づくりのために、服務規律に関する指導の徹底を図ります。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○鹿児島県公立学校教員等採用選考試験 ▶ 特別選考 保健体育, 臨時的任用教員, 障害者, 小学校英語, 現職教員, 社会人, 本県正規教員経験者, 優秀教員, 教職大学院, 大学推薦	5,548	教職員課
○管理職研修会(校長・教頭・事務長)(再掲)→p. 58	3,124	〃
○公立小中学校事務職員研修(新規採用, 中堅)	—	〃
○免許法認定講習 13講座 2日	1,369	〃
○人事異動の標準に即した人事異動(再掲)→p. 58	5,326	〃
○「資質の向上を必要とする教員」の人事管理	243	〃
○学校職員の人事評価の実施	—	〃
○優秀教職員の表彰	—	〃
○初任者研修事業(初任校1年目～3年目)	16,441	義務・高校教育課
○幼稚園新規採用教員研修事業(再掲)→p. 42	1,586	義務教育課
○幼稚園中堅教諭等資質向上研修(再掲)→p. 42	—	〃
○現職教員等研修事業	28,505	義務・高校教育課
○県総合教育センター研修事業	12,464	義務教育課
▶ 短期研修 158講座 2,142人		
▶ 長期研修(1年間) 小, 中, 高, 特別支援 10人		
▶ 情報教育研修推進事業(高等学校等情報教育継続研修)(再掲)→p. 46		
▶ 来所研究		
▶ 土曜講座		
○子供の明日を拓く生徒指導チーム体制構築プログラム(再掲)→p. 16	2,477	〃
○「学習者主体の授業」への改善推進事業(再掲)→p. 33	5,959	〃
○未来を切り拓く!新時代に対応した資質・能力育成推進事業(再掲)→p. 33	7,696	高校教育課
○グローバル人材育成促進事業(再掲)→p. 48	9,384	〃
○養護教諭研修事業(新規採用, 経験者)	11,914	保健体育課
○栄養教諭研修事業(新規採用, 経験者)	2,275	〃
○大学院派遣(鹿屋体育大学)	—	〃
○学校体育指導事業(スポーツリフレッシュセミナー)(一部再掲)→p. 28	308	〃
○学校図書館講座	536	社会教育課
▶ 「幼稚園・小学校」講座		
▶ 「中学校・高等学校」講座		
○「かごしまの先生」人材発掘・活躍サポート推進事業(再掲)→p. 58	11,204	教職員課
▶ 県外での採用選考試験の実施		
▶ 本県の教員として働くことのやりがいや魅力に関するPR活動		
▶ ブランクのある教職経験者を支援する研修等		
施策予算額計	126,359	

【主な事業】

- 現職教員等研修事業(28,505千円)
教職員の資質向上を図るために、各種研修、シンポジウム等を実施する。
- ▶ 教職経験者研修
ステップアップ研修(5年経験者研修)
パワーアップ研修(中堅教諭等資質向上研修)
- ▶ 中学校臨時免許状等による教科担任等研修会(4・6・8月9教科)
- ▶ 特別支援学級等新任担当教員研修会(5月)
- ▶ 教員民間企業等派遣研修(10人程度)
- ▶ 大学院派遣研修(鹿児島大学教職大学院等)
- ▶ 未来を拓く鹿児島の教育シンポジウム(8月)



⑥ 教職員の資質向上（教職員課・義務教育課・高校教育課・保健体育課・社会教育課）

【令和6年度予算 126,359千円】

〈 教職員研修の充実 〉

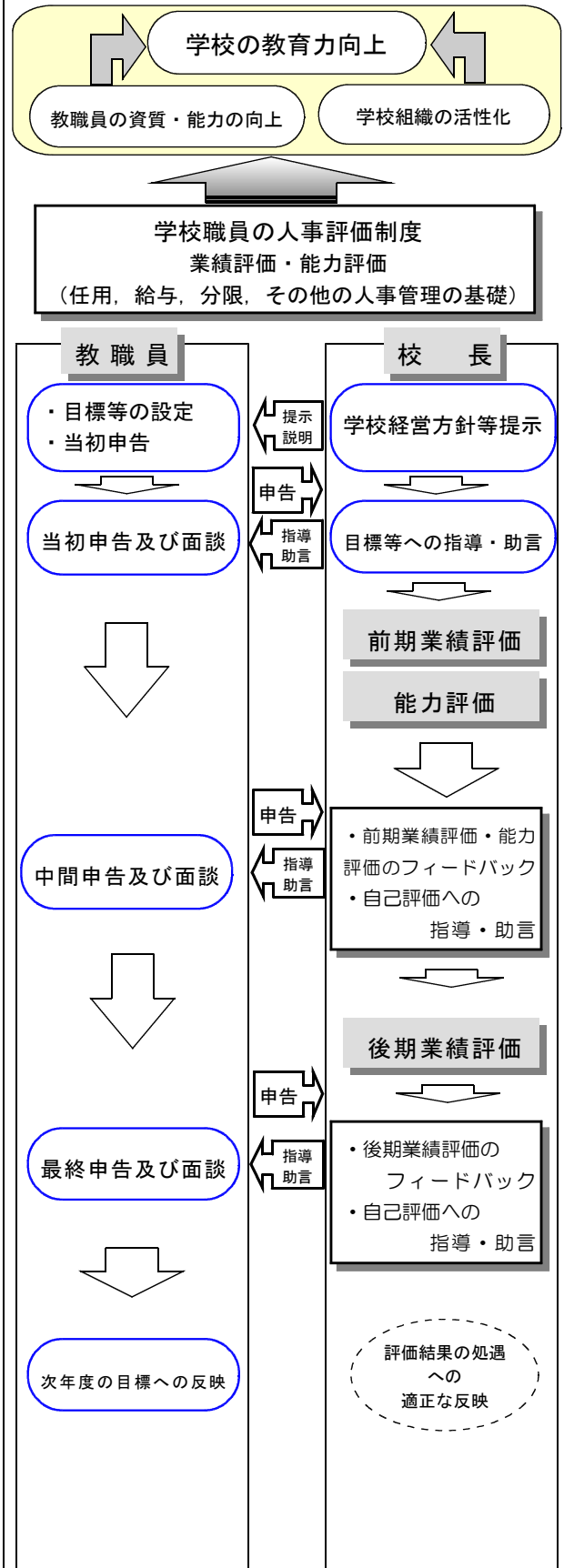
「かごしま県教員等育成指標」の活用

年 期	経験年次によって受講する研修
30	<ul style="list-style-type: none"> ※ 人権教育管理職研修会（任用2年目の校長） ※ 新任校長研修会
25	<ul style="list-style-type: none"> ※ 経験者教頭研修会（小・中学校4年目の教頭） （県立学校3年目の教頭） ※ 人権教育管理職研修会（任用2年目の教頭） ※ 新任教頭研修会
20	<ul style="list-style-type: none"> ○ 独立行政法人教職員支援機構 ・ 教職員等中央研修 ・ 生徒指導指導者養成研修 等 ◎ 小・中学校管理職任用標準試験（35歳～） ※ パワーアップ研修 （中堅教諭等資質向上研修）
10	<ul style="list-style-type: none"> ※ ステップアップ研修 （5年経験者研修）
5	<ul style="list-style-type: none"> ※ フレッシュ研修 （初任校研修 1～3年目） ・ 人権教育教職員等研修会（2年目）

教育課題解決に向けての研修

- 長期研修 ○ 短期研修講座
- 土曜講座 ○ 継続研修（高等学校等情報教育）
- 生徒指導実践力・チーム力向上プログラム
- 中学校臨時免許状等による教科担任等研修会
- 大学院派遣研修
- 教員民間企業等派遣研修
- 未来を拓く鹿児島県の教育シンポジウム
- かごしま学びチャレンジ推進事業
- 令和の日本型学校教育推進支援プログラム
- 未来の創り手を育成する学力向上プログラム（小・中・特別支援学校）
- 高等学校等教育実践研究会
- 健康教育研究大会
- 幼稚園教育課程研究協議会
- ブランクのある教職経験者等を支援する研修 等

〈 学校職員の人事評価の実施 〉



⑦ 安全・安心な学校づくり

- 学校施設の非構造部材について耐震化を図ります。
- 社会状況の変化・多様な学習活動等に対応できるよう、老朽化した学校施設の教育環境向上と長寿命化を図ります。
- 関係機関と連携し、児童生徒への安全教育を推進するとともに、各学校の安全管理体制整備を推進します。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○地域ぐるみ学校安全体制推進事業(再掲)→p. 74	11,169	保健体育課
○「学校における危機管理の手引」の活用とそれに基づく避難訓練等の実施	—	〃
○学校安全推進事業	4,095	〃
○市町村立学校施設の耐震化促進	—	学校施設課
▶ 非構造部材の落下防止対策		
○市町村立学校施設の老朽化対策等の促進	—	〃
▶ 校舎や屋内運動場の新增築, 改築, 大規模改造及び長寿命化改良		
▶ へき地教職員住宅, 体育施設及び給食施設		
○市町村立学校教育設備の整備促進	—	〃
○高等学校建物整備事業	2,775,460	〃
▶ 校舎等の改修工事等	15校	
▶ 校舎等の維持補修等	61校	
○高等学校施設整備管理運営事業	36,363	〃
▶ 施設整備に併せて必要となる備品や附帯設備の移設等		
○産業教育施設整備事業(再掲)→p. 40	3校	〃
○県立高校空調設備整備事業	262,032	〃
▶ 執務室への整備	4校	
○運動場整備事業	358,882	〃
▶ 整地, 排水対策工事等	2校	
○県立高等学校体育施設整備事業	224,394	〃
▶ 屋内運動場の外壁改修	3校	
○特別支援学校建物整備事業	834,695	〃
▶ 校舎等の改修工事等	8校	
▶ 校舎等の維持補修等	16校	
○特別支援学校施設整備管理運営事業	2,048	〃
▶ 施設整備に併せて必要となる備品や附帯設備の移設等		
○夜間中学施設整備事業(再掲)→p. 70	1校	〃
○県立学校降灰除去事業	3,000	〃
○県立学校施設災害復旧事業	20,000	〃
○理科教育等設備整備事業	32校	〃
○産業教育設備整備事業(再掲)→p. 40	51,961	〃
○特別支援学校管理運営事業(再掲)→p. 36	37,135	〃
○県立学校給食設備改善事業	11,340	〃
施策予算額計	4,930,469	

【主な事業】

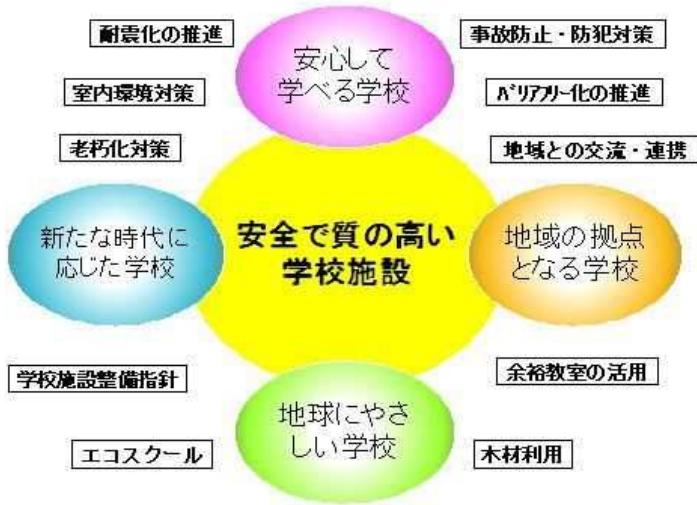
- 学校安全推進事業(4,095千円)
 防災と防犯のモデル実践として、学校と地域、関係機関が連携した地域ぐるみでの学校安全体制構築に向け、学校安全の組織的取組と外部専門家の活用、学校間の連携の在り方についての研究・実践を行う。
 また、教職員対象の学校安全に関する研修会を開催する。
 - ▶ モデル地域(防災, 防犯, 交通安全): 垂水市, 屋久島町
 - ▶ 防犯・交通安全・防災の各講習会の開催



⑦ 安全・安心な学校づくり（学校施設課・保健体育課）

【令和6年度予算額 4,930,469千円】

〈学校施設を取り巻く現状や課題と取組〉



〈学校安全推進事業〉



【学校安全に関する研修会】

- ・ 令和6年度開催地区：防犯（南薩地区）、交通安全（大隅地区）、防災（北薩地区）

【主な事業】

- 高等学校建物整備事業(2,775,460千円)
高等学校における生徒の安全性の確保や円滑かつ効果的な学校運営が実施できるよう、老朽化した校舎等の改築や改修等を行い、教育環境の向上を図る。
- 特別支援学校建物整備事業(834,695千円)
特別支援学校における児童生徒の安全性の確保や円滑かつ効果的な学校運営が実施できるよう、老朽化した校舎等の改築や改修等を行い、教育環境の向上を図る。



⑧ 「学びのセーフティネット」の充実

- 家庭の経済状況や地理的条件等にかかわらず、安心して教育を受けられるような環境づくりを図ります。
- 高等学校等における教育に係る経済的負担の軽減を図るとともに、経済的理由により、就学を断念することがないよう、必要な支援を行います。
- 生活困窮世帯の子供は、自尊感情の醸成、ソーシャルスキルや生活環境の向上など生活面の課題を抱えている場合があることや、子供との関わりが少ない親等の養育に関する課題があるため、子供の居場所の提供や親への養育支援等、地域における家庭教育支援の推進に向けた子育て支援との連携を進めます。
- 教育機会確保法に基づき、年齢や国籍等に関わりなく、様々な人々のニーズに対応した教育機会の提供に努め、ウェルビーイングの向上を図ります。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○公立高等学校就学支援金等事業	2,761,870	総務福利課
○育英財団貸付事業	—	〃
▶ 高校生等に対する奨学金の貸与		
○大学在学時奨学金返還支援基金事業	25,000	〃
○大学等入学時奨学金貸付事業	40,112	〃
○夜間中学施設整備事業	64,896	学校施設課
●夜間中学開校準備事業	18,905	義務教育課
○学力水準向上費(再掲)→p. 64	2,509	〃
○県総合教育センター研修事業(短期)(再掲)→p. 66	8,561	〃
▶ 日本語指導が必要な児童生徒の指導に関する講座 1講座 15人		〃
○奨学のための給付金事業	505,302	高校教育課
○定通教育振興奨励事業	5,084	〃
○生徒指導対策総合推進事業(再掲)→p. 16	205,239	高校・義務教育課
▶ スクールカウンセラー配置事業		
▶ スクールソーシャルワーカー活用事業		
○特別支援教育就学奨励費事業(再掲)→p. 36	285,759	特別支援教育課
○離島生徒指定大会遠征費助成事業	25,164	保健体育課
		義務・高校教育課
		高校教育課
●魅力ある県立高校づくり推進事業(再掲)→p. 62		
▶ 県立高校生徒通学費支援事業	12,555	
○夜間定時制学校給食管理事業(再掲)→p. 26	12,236	保健体育課
施策予算額計	3,960,637	

【主な事業】

- 大学在学時奨学金返還支援基金事業(25,000千円)
大学等卒業後に県内に就業するなど、一定の要件を満たした場合に、借り受けた奨学金の返還を支援するため、民間、市町村と連携して基金を造成する。
- 離島生徒指定大会遠征費助成事業(25,164千円)
離島生徒の経済的負担を軽減するため、運動部活動及び地域スポーツクラブ、文化部活動及び地域文化クラブの大会に参加する生徒に対し、その経費の一部を助成する。
- 夜間中学開校準備事業(18,905千円)
- 夜間中学施設整備事業(64,896千円)
令和7年4月に夜間中学を開校するため、県内各地で入学説明会を開催し、生徒募集を行うとともに教育課程など学校運営に必要な計画の立案、施設や物品等の整備を行う。
- 県立高校生徒通学費支援事業(12,555千円)
路線バス等の減便・廃止の影響により、県立高校への通学に係る定期代の負担が増加する生徒に対して支援を行う。



⑨ 私立学校教育の振興

- 建学の精神に基づき、特色ある教育活動を展開し、教育の質の向上にも取り組みながら、公立学校とともに本県の学校教育の中で重要な役割を果たしている私立学校の教育条件の維持・向上、健全な発達を図るとともに、時代のニーズに即応した高度な専門的技術や知識を持った人材の育成に努めます。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○私立学校運営費補助	7,221,302	※学事法制課・子育て支援課
○私立学校運営費特別補助	286,232	〃
○私立高等学校入学金・授業料補助	122,680	※学事法制課
○私立学校退職金補助	150,705	※学事法制課・子育て支援課
○日本私立学校振興・共済事業団掛金補助	167,683	※学事法制課
○私立専修学校運営費補助	33,221	〃
○高等学校等就学支援金事業	7,063,985	※学事法制課
○奨学給付金事業	347,656	〃
○私立小中学校等経済的支援事業	4,368	〃
○私立専門学校修学支援事業	641,565	〃
○私立専修学校人材育成・県内定着促進事業	2,800	〃
㊦私立学校耐震化促進補助事業	27,500	〃
施策予算額計	16,069,697	

【主な事業】

- 奨学給付金事業(347,656千円)
授業料以外の教育費負担を軽減するため、国が定める所得要件を満たす世帯の高校生等に対して、奨学のための給付金を支給する。

⑩ 魅力ある県立短期大学づくり

- 予測困難で変化の激しい時代の要請に対応するとともに、持続可能な社会の創り手を育成するため、鹿児島県の魅力を活かす教育、高度情報化やグローバル化に対応する教育など時代の要請に対応した教育内容や教育方法の充実などに取り組むとともに、地元企業等と連携した人材の育成及び定着に取り組み、地域住民のリカレント教育にも貢献する魅力ある県立短期大学づくりを推進します。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○教育研究調査推進事業	31,269	※学事法制課
○魅力ある短大づくり事業	23,462	〃
○施設整備事業	157,786	〃
施策予算額計	212,517	